

CREATIVE TABLE

ものづくりレクチャーシリーズ クリエイティブ・テーブル

「もの」や「こと」が生まれる時、必ずそこに存在する「想い」がある
「もの」や「こと」を生み出し続けるクリエイターの、そのストーリーに耳を傾け
参加者が直接対話することで想像力を刺激し合う場、「クリエイティブ・テーブル」
多彩な参加者が集まり、交わることで、新たなものづくりに繋がったり
創業・就業の機会を創出したりと成果が出始めているこの活動をご紹介します



主催:KRP(株) / 京都試作センター(株) 企画:SOME PROJECT / (株) エニアックインターナショナル
共催:京都府・京都市・(公財)京都産業21・京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト推進協議会

特集

CHAPTER 1 | ORGANIZER

活躍するクリエイターとの対話・交流から 新しいものづくりのきっかけを。

クリエイティブ・テーブルは、
京都次世代ものづくり産業雇用
創出プロジェクトの一環で、若
手職人の自立支援を行う「京都職
人工房」の活動とも連携して、
できるだけ多くの人に参加頂け
るように午後6時半からの開催
としています。

毎回、ものづくりに関わる方々
をゲストに招いて「もの」や「こと」
を生み出すときの「ストーリー」
や、その思いを語っていただいで
います。講演後の交流会では、講
師や参加者同士が業種を超えて対

話することで、新たなものづく
への刺激やヒントを得てもらおう
と考えています。「テーブル」と
いうネーミングには、そんな双方
向コミュニケーションの場という
意味を込めています。

これまで登壇いただいたゲスト
は、デザイナーや建築家、プロ
デューサー、スタイリストなど多
岐にわたります。どの回も講演や
交流会では活発な意見交換が行わ
れました。参加者も実に多彩で、
ゲストのジャンルに関係なく毎回
のように参加される方や、税理士

や生け花教師など、一見ものづく
りとは関係なさそうな方も参加さ
れ、回を重ねるごとにその幅は広
がってきています。

そんな交流の中から、工業製品
と伝統工芸のコラボや、ワーク
ショップの開催などの事例も生ま
れています。「テーブル」がさら
ににぎわって、ここからまた別の
新たな活動が生まれていけばと
思っています。

KRP(株) 産学公連携部
クリエイティブ事業担当
白水 智子



京都試作センター(株)
常務取締役
坂口 俊一氏

京都では、伝統産業の優れた技
術を活用しながら、新付加価値を
生み出すものづくりを新文化産業
と位置付けています。本事業を通
して、伝統工芸を目指す職人が、
新たな事業展開や商品開発に必
要な知識を習得し、それに向けて
の協力者・協業者と出会い、その
中から新文化産業が芽生え発展
することを期待します。



株式会社
エニアックインターナショナル
山崎 伸吾氏

先鋭的でクリエイティブ性に溢れ
たアイデアが共有出来る場を作り
たいという思いでこの企画を始め
ました。時代の変化に伴い、「デザ
イン」の領域が技術や道具といったものから、
コミュニケーション/まちづくりなど、
人の暮らしにダイレクトに必要な知
恵や経験にまでひろがっています。時代
の意識を共有し、より創造的な未
来を作る事が出来ればと願っています。

TOPICS

京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト

京都府が、厚生労働省の「戦略産業雇用創出プロジェクト」の採択を受けて(平成25年7月・全国11地域)、
京都市をはじめとする産学公・公労使の「オール京都」
体制のもとで、産業政策と雇用政策を一体として推進
することにより、新事業の創造と正規雇用の創出を目
指すものです。(事業期間:平成25年度~27年度)

KRP(株)の産学公連携活動

「大学のまち」であり「ベンチャーのまち」でもある京都で、新産業創出
土壌づくりへの貢献を目指すKRPは、地区内公的機関や、大学、外部機関と
連携をはかりながら、幅広い分野でプラットフォーム活動を展開しています。

産学公の活発な交流と密接な連携を通じて、
新たな産業・ビジネスの創出をサポートします。



KRPの産学公連携5つのミッション

- 大学の「知」を社会に展開する「産」「学」「公」一体となった仕組みづくり
- 「産」「学」「公」間の相互関連効果を深めるイノベーションの「場」であるプラットフォームの構築
- プラットフォームをベースにしたイノベーションプロセスのサポート
- 情報発信・人材育成・海外展開などの活動を通じて、多様なプレーヤー間ネットワーク形成
- 地域経済の活性化及び成長促進

4つの分野のプラットフォーム活動。

ICT&Design

「ICT」と「デザイン」をキー
ワードに、京都大学の大学院
情報学研究所、デザインスクール
と連携し活動。

電子エネルギーシステム

次世代の電子エネルギーシス
テム産業を牽引する関西発
「日本版グローバルニッチ」
志向の企業を、地域と連携し
支援。

クリエイティブ事業創出

3つの活動を通して、世界有
数の京都の知的資産(技・智
慧人材)を新たな視点で再構
築することで新産業創出を目
指します。(次項3事業)

ライフサイエンス

再生医療分野などの医療や研
究開発の現場で求められる
「ものづくり」を、製品化から
事業化までサポートするため
の仕組みづくり。

クリエイティブ事業創出3事業。



ロリィタスタイルを“ものがたりの
まち”京都から提案。



若手職人が見せ方や伝え方を学び、
新たなものづくりに挑戦。



先進的なクリエイターを招き、創造
力を活性化させる「場」を提供。特集
記事で詳しく解説。

「京都×ロリィタ」スタイルの提案を通して 京都発のブランド創出を目指す。

「京ロリ」は、2010年に発足したKYOTO STREET FASHION構想
内においてスタート。2014年からはKRP(株)もプロジェクトの中心に
加わり、商品・サービスの事業化を目指す新たな段階へと歩みをすすめて
います。2015年3月には学生らが提案した試作服飾品の展示会を
開催。(左写真)今後は、食・住・遊環境や観光など、多様な視点のもの
でのプロジェクト展開を模索していきます。海外からも関心の高い「京ロ
と、ロリィタ」の掛け算をベースに、若手プロデューサーやクリエイターら
によるグローバルな求心力をもったブランドを生み出していけたらと
思っています。

KRP(株) 産学公連携部
倉地 聡子





CHAPTER 3 | 2014 GUESTS

先進的な「ものづくり」「ことづくり」のクリエイターが幅広い分野から「創造力を誘発する」テーマで登壇。

多方面から第一線で活躍中の魅力的なゲストを招聘。

▼平成26年度開催事例のご紹介

アイデアは外に出て見つけよ！

ミラノ万博に向けてイタリア最新情報を知る
島田 昭彦氏 株式会社クリップ代表
マルコ・マッサロート氏 HAGAKURE CEO最高責任者
 平成26年4月28日(月)開催

アイデア発想法

アイデアパーソンになるトレーニング講座
加藤 昌治氏 株式会社博報堂
 平成26年5月24日(土)開催

建築にまつわる物語

大西 麻貴氏 o+h・建築家
 平成26年6月25日(水)開催

文字で伝える人。絵で伝える人。

松倉 早星氏 ovaqe inc.代表・CNTR編集長
堀内 弘賢氏 株式会社電通
 平成26年7月30日(水)開催

これからの服作りと表現の可能性

スズキ タカユキ氏 デザイナー
 平成26年8月25日(月)開催

まちへ関わる経路をつくる

都市と建築の介在者(イン・ビトウィーンズ)として
RAD
 (川勝 真一氏、榊原 充大氏、木村 慎弥氏、本間 智希氏)
西本 千尋氏 株式会社ジャパンエリアマネジメント
 平成26年9月29日(月)開催



暮らしとデザイン、コミュニケーションが生まれる景色

中原 慎一郎氏 ランドスケーププロダクツ代表
サノワタル氏 Producer・Graphic designer・iroiro オナー
 平成26年10月27日(月)開催

ものづくりを届ける仕事の話

山田 遊氏 株式会社メノッド代表取締役・バイヤー・監修者
 平成26年11月19日(水)開催

モノガタリから創るモノヅクリ

クリエイティブスタジオRBTのヒガシテッペイとモノヅクリ的アタマの体操
ヒガシ テッペイ氏 RBTXCOデザイナー
 平成26年12月18日(木)開催



「ハッ橋」が誕生して326年。企業理念である「味は伝統」の意は、単に同じ味に固執することではなく「今一番おいしいハッ橋」を作ることで「100年続く商品」に繋げていくことです。「ハッ橋」「生ハッ橋」のいずれも「米粉と砂糖を混ぜ合わせてニッキで味付けしたもの」という本来の定義から外れない商品づくりを心がけ、特にハッ橋の包装紙は昔ながらのデザインやロゴを使用しています。その一方で、新ブランド「nikiniki」を立ち上げ、新しい購買層を獲得するために、あえて「ハッ橋らしさ」

をおさえた商品を開発しました。シンプルで統一感のあるパッケージ、緑をテーマカラーにした店舗構え、店頭試食のフィードバック、フェイスブックによる食べ方の提案など、かつてない販売戦略にチャレンジしています。これからも「手づくり」「京都発信」という従来の姿勢を変えることなく、同時に「驚きや発見のあるもの」を創り出して、お客様の裾野を広げていきたいと思っています。(平成27年2月6日(金)開催)

「伝統に寄り添い継承されるものづくり」
 nikiniki | 新たな試みが生んだお菓子の話

先駆者のチャレンジや参加者同士の対話から明日のものづくりにつながるヒントを見つける。



(株)聖護院ハッ橋総本店
 専務取締役
鈴鹿 可奈子氏

京都大学経済学部経済学科卒業。信用調査会社勤務を経て2006年同社入社。2011年ハッ橋を新しい形で提供する新ブランド「nikiniki(ニキニキ)」を立ち上げる。

voice 交流会では分野を超えた出会いから新しい発見が。



コクヨS&T(株)
 ステーションプロダクツ事業部
小西 克弥氏

勤務先の創業110年のメーカーが抱える“ブランド価値と業績の向上”という課題と、頑なに守り受け継いで行くべきことと、積極的に変えて行くべきことの見極めが大切という課題解決方法は同じだとわかり、大変有意義でした。



漆芸作家
追立 睦氏

漆作家の工房で勉強中です。鈴鹿さんのように家業を継いだわけではありませんが、手作りを大切にされているところが、作り手として印象に残りました。ここでは同じ悩みや苦勞を乗り越えた人の話が聞けて、励みになります。



(有)チャネルインサイト
 代表取締役
安田 真氏

こういう機会は、いろいろな業種の人と話し合えるし、顔見知りになっていければと思って毎回参加しています。nikinikiは見た目が新しいだけというイメージが先行していたが、思っていたより保守的で軸を大切にしていることがわかりました。

「押し放題」の次回作は漆芸家との究極のコラボ作品
 株式会社オージ大阪営業所長の木本氏も、何度かクリエイティブ・テーブルと交流会に参加。様々な業種の方と交流を深める中で、自社の商品であるバスの降車ボタンと、伝統工芸のコラボを発案。バスマットなどのイベントで降車ボタンの「押し放題」が好評。今後のイベントに向けて新たに螺鈿や時絵などの加飾を施した降車ボタンを試作。クリエイティブ・テーブルの交流会で知り合った漆芸家とのコラボ作品が誕生した。



バスマットで人気の「押し放題」。伝統工芸の技術で彩られた試作品は煌びやかで豪華な逸品。実際のバスにつけて欲しいという声もあった。



薪を使って効率的に高温調理ができ、災害時用としても注目を集めるコンパクトな暖房器具。機能性はもちろんスタイリッシュなデザイン性も目指している。

CHAPTER 4 | ANECDOTAL REPORT
 「テーブル」から生まれた事例をご紹介します。

レクチャーでの気づきや会話から課題解決やアイデア創出へ。新しい「もの」や「こと」が生まれています。

個別に開発中だったロケットストーブが協同製作でたちまち試作品完成へ

ステンレス排気筒を製造する株式会社大鋼製作所の代表有本氏が、クリエイティブユニットBartの服部滋樹さんが講師をされた第四回イベントに参加。交流会で服部さんと話すうちに、薪を燃料に効率的な高温調理ができるロケットストーブの話となり、偶然にも既存技術を生かして開発中だったロケットストーブを協同製作することになった。お互いのアイデアと技術を寄せ合って、必要なサイズやバランス、デザイン、展開方法など、製造会社が抱えていた問題を一気にクリアしレポートタイプが完成した。

平成27年度クリエイティブ・テーブルは5月スタート 詳細はこちら ▶ http://www.krp.co.jp/sangaku/design/c_table/

ジェトロ京都貿易情報センターがKRP地区に! 京都企業の海外ビジネス支援に新たな拠点



世界57カ国に広がるネットワークと
京都の中小企業を直結

独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)の国内事務所「ジェトロ京都貿易情報センター」が1月15日、KRP2号館に開所。京都としては初めてのジェトロ国内事務所となり、ジェトロの海外ネットワークと京都の中小企業とを直接つなぐ強力な支援窓口が地区内に設置されたことになる。

2月2日、サイエンスホールで行われた開所式には、経済産業省の山際大志郎副大臣、鈴木英夫通商政策局長、関総一郎近畿経済産業局長、山田啓二京都府知事、門川大作京都市長、ジェトロの石毛博行理事長、同センターの初代会長を務める立石義雄京都府商工会議所連合会会長らが列席。京都府の市町村の代表者らが集まって、新たな海外ビジネス支援拠点の誕生を祝った。

地域経済に活力を与える外国企業の誘致や京都産品の輸出促進、海外展開をねらう中小企業のワンストップ支援など、幅広い取り組みが期待されている。

グローバル化が不可欠の時代 ジェトロ京都をフルに活用してほしい

海外マーケット抜きにはビジネス展開が語れない時代となっている今、ジェトロ京都貿易情報センターのオープンには京都だけでなく、成長戦略に取り組み日本経済にとって時機にかなったもの。ぜひ京都企業のみなさんにジェトロが持つ海外ネットワークやサービスを活用してほしいです。

い合わせがあり、地元の海外輸出に対する関心や期待度の高さを感じているところです。

今後、貿易投資の個別相談やセミナーをはじめ、3月の「海外バイヤー京都大商談会」のような海外展開に直接つながるイベントの開催、海外事務所とつないだ現地の情報提供など、さまざまなサービスを提供していきますので、KRP地区の入居企業はもちろん、多くの地元企業のご利用をお待ちしています。当センターのキャッチコピーは「敷居を取り払った事務所」です。ぜひ気軽に海外ビジネスにお役立てください。

活動の一つと考えます。開所1カ月を待たずして、お茶や伝統産品など幅広い分野から

日本貿易振興機構(ジェトロ)
京都貿易情報センター 所長
石原賢一氏



所長・所員の他、貿易投資アドバイザー・対日投資アドバイザー、海外展開支援コーディネーターなどで編成。経験豊かなジェトロスタッフのほか、京都府、京都商工会議所からの出向、(公財)京都高度技術研究所スタッフのサポートを含めた強力な布陣。

セミナー、商談会、海外情報の提供など ビジネスニーズに応じたサービスを展開

貿易について一から勉強するバイナー向けセミナーから、京都にいながら海外バイヤーと直結できる商談会、貿易ビジネスの進捗状況に応じて選択できる活動やサービスを各種実施。電話予約による個別コンサルティングのほか、海外展開に積極的な京都企業にビジネス情報を届けるメールマガジンも発行準備中。

来所し相談をご希望の方はまずはお気軽にお電話を。



ジェトロ 京都貿易情報センター
■ 京都市下京区中堂寺南町134
KRP 2号館 215号室
JR丹波口駅より西へ徒歩5分

■ TEL : 075-325-5703
■ FAX : 075-325-5706
■ MAIL : KYO@jetro.go.jp
■ URL : <http://www.jetro.go.jp/jetro/japan/kyoto>

ジェトロ 京都貿易情報センターは
KRP2号館 2Fです。

KRPスタッフ イベントレポート

KRP STAFF EVENT REPORT デザインセミナー Series II
ヘルスケアデザイン

医療現場が抱える課題と2025年に向かう医療政策、ICT制度

開催日:2月4~6日 担当部署:産学連携部

京大デザインスクールが核となるデザインイノベーションコンソーシアム主催のセミナー。団塊世代が後期高齢者となる2025年の日本の医療をテーマに議論を深めた。国内外の医療・介護を取り巻く政策や現状を学び、ワークショップを通して日本のヘルスケアサービスの将来シナリオを導き出す3日間となった。

学びの場
町家オープンカレッジ<MOC>

満員御礼「本でつながる場のつくり方」

開催日:2月24日 担当部署:成長企業支援部

今回のスピーカーは、「まちライブラリー」提唱者の磯井純充氏。本を媒介に人がつながる「まちライブラリー」について、活動への思いや各地で展開される事例を紹介した。その後、参加者はグループに分かれ、「京都で作るなら、どんなライブラリー？」をディスカッションし、沢山のアイデアが生まれる一夜であった。

『事業を創る』技術経営フォーラム
12参画企業によるポスター展併設

ものづくりをビジネスに! 経験者が語る、事業化とは?

開催日:3月11日 担当部署:産学連携部

エレクトロニクスで新しい価値を生み出してきた電化製品メーカーより講師を招き技術経営情報を発信。新事業を創出し定着させるための技術開発や組織づくり、コア技術の展開、海外展開、ビジネスマネージメント等について、体験に基づいた講演内容だった為、講師の熱意が伝わる熱気溢れるフォーラムとなった。

外務省・京都府・京都市・精華町主催
京都視察ツアー

9か国の大使等視察団がKRP地区を来訪

開催日:2月26日 担当部署:総合企画部

外務省と京都府・京都市・精華町主催の京都視察ツアーでアジア・アフリカ・ヨーロッパ計9か国の駐日大使らがKRPへ来訪。広報担当が京都・KRP地区の特徴と魅力を紹介した後、KISTICのバイオ計測センター、京都職人工房を視察した。また、レセプションは京都府知事、京都市長、精華町長も出席し交流を深めた。



京都職人工房展覧会「職人たちのマーチ」

若手職人ら1年間の成果を発表

開催日:3月5日~8日(京都展)・12日~23日(東京展)

担当部署:産学連携部

京都職人工房の活動を通じて生まれた作品を中心にメンバーの代表作品を展示する展覧会を、京都と東京の2会場で開催した。京都展では、メンバーによるミニトークが行われ、作品や仕事への思いが語られた。初開催となる東京展では、竹細工や金箔を使ったワークショップも開催。連日沢山の来場者が会場を訪れた。



IWD 2015 Women Techmakers By GDG Kyoto

Google Developer Group 京都 主催

手芸+プログラミングから最旬Webデザインまで

開催日:3月14日 担当部署:営業部

国際女性の日(3/8)に関連し、世界各地のGoogleオフィスや開発者コミュニティで女性をターゲットとしたサミットやイベントが多数開催された。京都では、開発者コミュニティGDG 京都が、KRP町家スタジオでイベントを開催。手芸とプログラミングを融合させた活動をするLily Pad研究会の発表などが行われた。



テクノロジー&ビジネスプランコンテスト2014

NEDO Technology Commercialization Program
最終発表会

全国応募69チームの頂点を目指して高レベルの熱戦を展開

(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)では、NEDO Technology Commercialization Program(以下TCP)と称し、国内の大学発起企業候補に対する起業支援プログラム(TCP)を実施。全国からの応募69チームから二次審査を経て選ばれた10チームによるTCP最終発表会を KRP地区で開催した。ファイナリスト10チームの顔ぶれは、情報・通信・環境・バイオ・エネルギーと多彩な分野に渡り、それぞれ独自技術や手法を用いた事業案を発表した。

厳正な審査の結果、最優秀賞に選ばれたのは Photocathode Electron Soulの

「高性能電子ビーム生成装置と素子の販売事業」。審査員を代表して各務茂夫東京大学教授が「プレゼンテーション、技術の質ともにレベルが高く審査は難航した。最優秀賞は、大学の研究成果であるテクノロジーがビジネスにつながっている点が、最も今回のプログラム趣旨に合っていた」と講評を述べた。また、iHub賞として、「企業が持つ画像映像ビッグデータをクエリ可能にするサービス」を発表した AlpacaDBが選ばれ、KRP地区内インキュベーションオフィス[VIO] 入居無料特典が授与された。



129社の投資家も詰めかけ熱気につつまれた会場。喜びの名古屋大学Photocathode Electron Soul。

日時:2月20日(金) 場所:KRP西地区4号館地下1階 バズホール

主催:(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、(株)日本総合研究所 企画・運営:(同)SARR 協力:SRI International、(株)三井住友銀行、(株)パソナテック、(株)カビオン、KRP(株)、大阪イノベーションハブ、新日本有限責任監査法人、EY新日本クリエーション(株)、(独)中小企業基盤整備機構、京都府、京都市

海外進出セミナー

グローバルセミナー 東南アジアの日系企業動向

(株)三井住友銀行グローバル・アドバイザー部副部長保坂宏一氏を講師に迎え、KRP地区入居企業を対象に開催。

ASEAN加盟10カ国のうち事業展開先として有望な国々を中心に、豊富なデータをもとに詳細かつ多角的に分析。国ごとの政治や社会情勢などの問題点も含めた市場トレンドを実例もまじえて分かりやすく紹介された。東南アジアは全体としては成長が見込める巨大な消費市場で、新規進出先として中国より増加傾向にあるが必ずしも一様ではなく、国ごとに市場特性や金融事情、発展段階、成長スピードが異なると強調。

アジア地域内での統括機能を設置して

いるシンガポール、高付加価値業種へ転換しつつあるタイ、内需は拡大しているもののハードルのあるインドネシア、「CHINAプラスワン」の筆頭で初心者向きのベトナムなど、参考となる情報を国別に提示。なかでも人口が1億人を突破し内需が堅調、労働力も豊富であるのに相対的に進出数が少ないフィリピン市場に注目すべき、との見解が示された。

地区からの参加企業は IT関連や製造業のほか医薬品や会計・法律関係と幅広く、講演後の懇親会では、同行支店長、部長、各スタッフと熱心に意見交換する姿が見られた。



同行アドバイザー部では年間約5,000件もの相談業務に対応。実践的な情報が提供された。

日時:2月13日(金) 場所:KRP東地区1号館2階 サイエンスセンタークラブ

主催:(株)三井住友銀行、KRP(株)

詳しい内容はWEBでチェック! ▶▶



・成長企業支援部ブログ <http://www.krp.co.jp/sks/>
・町家日記 <http://www.krp.co.jp/machiya/blog/>
・産学連携部 <http://www.krp.co.jp/sangaku/event/>

Newcomer



KRPエリアに入居された
新しい企業様のご紹介です。

KRP 4号館

株式会社シオガイ精機

各工場用産業機械及び各工場においての省力化、自動化や、機械の設計製作、各種治具の製作。金属機械部品加工の製造海外調達及び販売。また、ベトナム国内および東南アジアにて自動機の製作を行なっています。

代表取締役 塩貝 寿俊
TEL: 075-963-6500
FAX: 075-963-6605
URL: <http://www.shiogai.co.jp>
MAIL: shiogai@shiogai.co.jp
業種: 機械 / 装置 / 器具



KRP 6号館

株式会社CANVAS 京都オフィス

会社案内からチラシ・フライヤー・ポスター・メニューはもちろん、ホームページ制作まで、完全オリジナルデザイン。プロ集団がトータルプロデュースします。



代表取締役 酒井 高
TEL: 075-963-6201
FAX: 075-963-6211
URL: <http://pamphlet.ciao-design.com/>
MAIL: kpr-office@canvas-web.jp
業種: デザイン / 印刷



KRP 1号館

マルホ発條工業株式会社

「技術創造型企業」を標榜し、創業以来、精密小物ばねを中心とした精密金属加工技術と包装機械関連技術をベースに事業展開をしています。

1. 各種精密スプリング・板ばねの製造ならびに販売
2. 各種自動包装機・省力機器の設計ならびに製造販売
3. 各種医療デバイスの開発ならびに製造販売

代表取締役社長 今井 良平
TEL: 075-312-1661
FAX: 075-313-5559
URL: <https://www.maruho-htj.co.jp/>
MAIL: soumbu@maruho-htj.co.jp
業種: 機械 / 装置 / 器具



京都銀行・京都中央信用金庫とKRP(株) 創業支援連携で覚書を締結

創業者向けのスタートアップゼミを4月開講

創業を
サポート

■ 地域発イノベーション創出を後押し

成長志向のある創業者を後押しするために、京都銀行・京都中央信用金庫とKRP(株)の間で「創業・新事業支援についての覚書」を新たに締結した。連携第1弾として、「スタートアップ・サポートゼミナール 入門編」を4月4日、11日、18日に開講。本講座修了者で、京都市内で創業を予定する場合は、平成27年度創業補助金の加点、京都市内で創業を予定する場合は京都市の制度融資の申込ができる。第2弾は6月を予定。

■ 「学びながら事業サポートが受けられる」創業セミナー

自らの考えを深め、創業へと導くカリキュラム

自ら考え、伝えるための「ヘルソナマーケティング」や「エレベーターピッチ」など、ワークショップを中心とした少人数セミナーを実施。

連携の強みを活用したコース修了者への追加支援

優良修了者は、金融機関と連携したパートナー企業や販路紹介・資金調達の相談が出来る「サポートコース」が受講可能。

京都府・京都市の認定セミナーとして創業支援施策活用時の優遇措置

京都市内での創業予定者は、平成27年度「創業補助金」(最大200万円)申請の加点、京都市内での創業予定者は京都府・京都市創業・経営継承支援融資「創業支援型」(最大1,000万円の融資枠)の申込資格。

お問い合わせ先 KRP(株) 成長企業支援部 近兼(ちかかね)
TEL: 075-315-9185



Profile

北海道出身。漫画家を志しつつ専門学校マルチメディア科でプログラミングを学ぶ。地元のゲーム開発会社などに勤務しながら、ネット発のサークル仲間とともにCG作成支援ソフトを協同開発。2011年11月、世界初の筋トレ応援ゲーム「ねんしょう!」を配信。「社会に役立つ」をキーワードに新しいコンセプトでスマートフォンアプリを企画開発している。

スマートフォンアプリに着目
「ベンチャーの京都」で起業
「面白くて役に立つ」ゲームをつくりたいと思って、萌えキャラが筋トレを応援するゲーム「ねんしょう!」を開発しました。ダウンロード数が少しずつ伸びていき、続いてイケメンがシェイプアップを応援する女性向けの「ねんしょう! トロ

の「ねんしょう!」が話題となり、いずれも好調です。
サラリーマン時代、ネットを知り合った友人たちと一緒にソフト開発がしたいと思ったのが始まりでした。でも家庭用ゲーム会社を立ち上げるには高額な資本が必要だし、とても無理。ちょうどその頃、iPhoneの3GS、4が発売されてアプリが注目され始めたのです。これな

ら資本も少額で済むし世界に向けて発信することもできる、とアプリ開発に乗りだしました。起業するならベンチャーのまち、京都でと思い、昨年KRP地区に入居し創業しました。
印象的なビジュアルを駆使して楽しむうちに役立つゲームを

「ねんしょう!」は、スクワットや背筋エクササイズなどバージョニアップを重ね、また昨年から体組成計の株式会社タニタとのコラボによる「ランニング応援ゲーム ねんしょう! 2+ (PLUS)」の無料配信をスタートさせました。とかく美少女やイケメンのビジュアルばかりクローズアップされるのですが、それはゲームを多くの人に知ってもらい、より楽しく筋トレなどをしていただくための、一つの手段です。よく勘違いされるんですが、私自身はそれほどアニメオタクではありません(笑)
私にとってゲームは単なる遊びではなく、学んだことも多かったし、人格形成にも役立ったと思っています。夢中になって楽しむうちにいつのまにか能力や知識が身についている。そんなゲームをつくるのが、わが社の使命と考えています。

ゲームクリエイションで サブカルチャーの地位向上を

スマートフォンの登場でゲームユーザーが増加したとはいえ、業界としての社会的地位は高くありません。サブカルチャーはサブの位置にとどまったままで、時にネガティブなイメージで受け取られがちです。これからはゲームデザインの技術やメカニズムをビジネスや社会に役立てる「ゲーミフィケーション」の有益なモデルを開発して、文化としても業界としても、ゲームというものの社会的なステータスを向上していきたいと思っています。

KRPスタジオ様

代表取締役社長 菅田 峰晃
MAIL: support@creativefreaks.net
URL: <http://creativefreaks.net/>
業種: IT(コンテンツ制作)

株式会社 Creative Freaks



企業理念は、日本の漫画・アニメ・ゲームの文化を使い、ちよっと。世の中の役に立つ製品・サービスを生み出すこと。スマートフォンアプリの企画・開発、スマートフォンアプリのコンサルティング事業、CGデザインの受託・請負事業などを行なっています。

企業 情報

1. 「リカモ」 理化学・医療機器を「みせる」サイトをオープン。

ものづくり企業が開発した新製品を動画で紹介。
研究者の製品探しをもっと自由に!

KRP(株)では、理化学機器や医療機器を動画でPRできる「リカモ」理化学・医療機器をみせるサイトを2015年1月末にオープンし、運用を開始した。

「リカモ」ではものづくり企業が開発した理化学機器、医療機器、材料などを、動画で分かりやすく紹介。医師や研究者、販売代理店への販売に繋げていく。平成28年3月まではものづくり企業が製品を掲載する場合、無料で掲載を予定している。

また、ユーザーからの試作品・製品に対する

評価をものづくり企業へフィードバックする仕組みも構築しており、ユーザーからの評価をものづくり企業が得ることができ、製品改良や新製品開発に役立てることが出来る。

なおKRP(株)では、再生医療や周辺分野の産業化を目指し、研究や医療現場のニーズをものづくり企業へ橋渡しし、試作開発までをサポートする「ものづくりサポート活動」を実施している。これまでの取り組みによって58件の試作品が完成し、既に製品化に至ったものは5件ある。



理化学機器等をお探しの研究者、新製品をラインナップに加えたい販売代理店、自社開発した製品をPRしたい企業など、色々な目的を持った方々にご利用いただけます。

■ リカモならこんなことができます。



伝わる動画

新しく開発された理化学機器・医療機器・材料などを、動画で分かりやすく紹介しています。



デモ機貸出・サンプル提供

デモ機の貸出やサンプル提供を行っているものもあります。実際に使用して確認してください。



見積り依頼

必要な情報(数量、希望納期など)ご記入ください。企業から直接お見積りさせていただきます。



改良依頼・アイデア投稿

「改良すれば研究に使える」「製品を見てアイデアを思いついた」気軽に投稿してください。



<http://rikamo.jp>

運営元:KRP(株) 開発企画部

MAIL:saisei-s@krp.co.jp TEL:075-315-8476

🎥 製品PR動画続々掲載中!

今なら無料で製品PR動画を掲載できます。
詳しくはリカモ担当者まで。

2. KRP-WEEK 2015 開催決定!

2015年8月3日(月) ▶ 8月9日(日)

- 主催 : KRP(株)
- 後援(予定): 近畿経済産業局 京都府 京都市 京都商工会議所 京都産業育成コンソーシアム 京都産学公連携機構
- 開催場所 : KRP地区内各施設



※写真は2014年の様子です



KRP-WEEKに参加しませんか?

イベントやセミナー開催者を募集中!

昨年は48イベントを11日間で開催し、期間中で7,000人が来場した大型イベントです。ぜひPRの場としてもご活用ください。KRP地区内の企業・団体の方の場合は、会場費を特別価格でご提供いたします。

お問い合わせ

KRP(株) KRP-WEEK 事務局

TEL / 075-315-9333

※開催主旨や規模等を確認させていただきます

配送・停止・変更のご希望は、
右記内容を明記の上
krppress@krp.co.jpへ

配送 ①〒、住所 ②団体名 ③部署名 ④お名前 ⑤TEL/FAX ⑥メールアドレス ⑦「配送希望」 ※定期配送も可能です
停止 ⑧ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨「配送停止希望」 **変更** ①~⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.

vol.141
Apr
2015

KRP PRESS www.krp.co.jp/pub/index.html

○編集・発行 / 京都リサーチパーク株式会社
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地(ASTEM棟4階) TEL:(075)315-9333 FAX:(075)322-5348
○編集長 / 鈴木 和哉 ○取材・編集・デザイン・制作・印刷 / 株式会社情通レゾナンス ○配送管理 / 有限会社セクレタリアット

KRP News Mail 配信 毎月第2・4火曜配信
<http://www.krp.co.jp/pub/maga.html>

